

プレ公示案件への質問回答

【競争参加者様へ：留意点】

プレ公示段階での質問回答での回答内容は、企画競争説明書／入札説明書の段階で変更の可能性があります。

2023年11月1日 更新

公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部・課	質問内容	回答	回答日
2023年11月15日	23a00710000000	全世界病原体ゲノムサーベイランスのための感染症対策拠点ネットワーク強化にかかる情報収集・確認調査（QCBS-ランプサム型）	人間開発部 保健第一グループ	想定している検体（サンプル）は、下水以外に何かあればご教示いただけるのでしょうか。	現在のところ、下水疫学調査からの検体収集を想定しております。調査実施過程において、相手国の現状を踏まえ、他の検体収集手法が必要と判断された場合は柔軟に検討いたします。	2023年11月1日
2023年11月15日	23a00710000000	全世界病原体ゲノムサーベイランスのための感染症対策拠点ネットワーク強化にかかる情報収集・確認調査（QCBS-ランプサム型）	人間開発部 保健第一グループ	想定している検出対象は何でしょうか。	調査実施過程において、相手国機関と協議のうえ決定いたします。	2023年11月1日
2023年11月15日	23a00710000000	全世界病原体ゲノムサーベイランスのための感染症対策拠点ネットワーク強化にかかる情報収集・確認調査（QCBS-ランプサム型）	人間開発部 保健第一グループ	想定対象国の中で優先度が高い国はどこでしょうか。	対象国のうち、インドネシアとガーナにおいて、現地で小規模調査を実施する想定です。	2023年11月1日
2023年11月15日	23a00710000000	全世界病原体ゲノムサーベイランスのための感染症対策拠点ネットワーク強化にかかる情報収集・確認調査（QCBS-ランプサム型）	人間開発部 保健第一グループ	想定対象国の中で、現時点で現地調査のための渡航を想定している国はどこでしょうか。	インドネシアとガーナを想定しております。	2023年11月1日
2023年11月15日	23a00710000000	全世界病原体ゲノムサーベイランスのための感染症対策拠点ネットワーク強化にかかる情報収集・確認調査（QCBS-ランプサム型）	人間開発部 保健第一グループ	QCBS-ランプサム型の新制度では、業務主任の所属する企業しかJV構成員にはなれないのでしょうか。たとえば、業務管理グループを形成する場合は、JV構成員となるのは総括と副総括の所属先（補強元を含む）のみなのでしょうか。	選定方式に関係なく、業務主任者については、原則、自社（共同企業体の場合は代表者）の「専任の技術者」を指名していただく必要があります。また、業務管理グループが認められている場合、副業務主任者についても、原則、自社（共同企業体の場合は、代表者又は構成員）の「専任の技術者」を指名が必要です。「補強」に当たる方は、業務主任者又は副業務主任者とはなりません。詳しくはプロポーザル作成ガイドライン（6ページ及び「別添資料3：業務管理グループ制度と若手育成加算」）をご参照ください。	2023年11月1日
2023年11月15日	23a00710000000	全世界病原体ゲノムサーベイランスのための感染症対策拠点ネットワーク強化にかかる情報収集・確認調査（QCBS-ランプサム型）	人間開発部 保健第一グループ	本案件の“類似業務”とは、例えばどのような案件を想定しているのでしょうか。	保健・医療分野（感染症対策）の調査・分析業務を想定しております。	2023年11月1日
2023年11月15日	23a00710000000	全世界病原体ゲノムサーベイランスのための感染症対策拠点ネットワーク強化にかかる情報収集・確認調査（QCBS-ランプサム型）	人間開発部 保健第一グループ	本案件は情報収集確認調査ではあるものの、既に想定対象国のいずれかの国と将来の事業の可能性について協議を始めている状況にあるのでしょうか。	調査対象分野に関する将来の事業可能性については、対象国と未だ協議を始めている状況です。本調査の実施及び調査から抽出された結果をもとに対象国と協議することを想定しております。	2023年11月1日
2023年11月15日	23a00710000000	全世界病原体ゲノムサーベイランスのための感染症対策拠点ネットワーク強化にかかる情報収集・確認調査（QCBS-ランプサム型）	人間開発部 保健第一グループ	本案件において、国立国際医療研究センター（NCGM）や国立感染症研究所等の機関と何らかの協働や関与は求められるのでしょうか。	国立感染症研究所との協働を想定しております。	2023年11月1日
2023年11月15日	23a00710000000	全世界病原体ゲノムサーベイランスのための感染症対策拠点ネットワーク強化にかかる情報収集・確認調査（QCBS-ランプサム型）	人間開発部 保健第一グループ	人月（合計12.3人月）の現地と国内の比率を教えてください。	2023年10月以降の制度改革により、応募者からの企画内容・実施方法の提案をより重視して、総人月のみを示し、内訳は提示しないことになりました。なお、本案件の想定人月が12.3より9.8に変更になりました。それに伴い、選定方式は「QCBS-ランプサム型」から「一般競争入札（総合評価落札方式-ランプサム型）」に変わり、変更内容は2023年11月1日掲載分のプレ公示に反映されます。	2023年11月1日
2023年11月15日	23a00710000000	全世界病原体ゲノムサーベイランスのための感染症対策拠点ネットワーク強化にかかる情報収集・確認調査（QCBS-ランプサム型）	人間開発部 保健第一グループ	想定されている「パイロット活動」について、現段階でのイメージをお聞きできればと思います。例えば、 ①広域のパイロット活動でしょうか、それとも一国を対象とした活動でしょうか。 ②検査機材等の調達も含むパイロット活動になりますでしょうか。	①インドネシア及びガーナにおいて、小規模調査として下水疫学調査による検体収集と病原体ゲノム解析を実施予定のところ受注者にはその調整支援を行って頂く想定です。同調査結果を踏まえ、遠隔又は現地対面方式でセミナー等を開催する想定です。 ②上記①実施に必要な試薬等物品を特定し、物品を調達することも含まれます。	2023年11月1日

公示予定日	調達管理番号	案件名	担当部・課	質問内容	回答	回答日
2023年11月15日	23a00710000000	全世界病原体ゲノムサーベイランスのための感染症対策拠点ネットワーク強化にかかる情報収集・確認調査（QCBS-ランプサム型）	人間開発部 保健第一グループ	プレ公示では「課題解決への有効性が見込まれる支援活動については、本調査においてパイロット活動として試行的に実施し、効果の検証を行う。」とあるが、このパイロット活動についてアフリカ、アジアいずれかの地域、もしくは国、そしてパイロット活動を実施する国の数についての具体的な指示はあるでしょうか。	インドネシア及びガーナにおいて、小規模調査として下水疫学調査による検体収集と病原体ゲノム解析を実施予定のところ、同調査結果を踏まえ、遠隔又は現地対面方式でセミナー等を開催する想定です。	2023年11月1日
2023年11月15日	23a00710000000	全世界病原体ゲノムサーベイランスのための感染症対策拠点ネットワーク強化にかかる情報収集・確認調査（QCBS-ランプサム型）	人間開発部 保健第一グループ	調査のフォローアップやパイロット活動の実施にローカルコンサルタントの備上は可能でしょうか。	可能です。	2023年11月1日
2023年11月15日	23a00710000000	全世界病原体ゲノムサーベイランスのための感染症対策拠点ネットワーク強化にかかる情報収集・確認調査（QCBS-ランプサム型）	人間開発部 保健第一グループ	関連施設との会議等に関するアポ取り等はどこまで便宜供与してもらえるでしょうか。	基本的に受注いただく方にてアポ取り等を対応いただく想定ですが、必要に応じ発注者側で調整可能です。	2023年11月1日